

卒業研究Ⅱ

科目ナンバリング THE-402
必修 4単位

中山 京子

1. 授業の概要(ねらい)

教育学演習Ⅰを継続して、国際理解教育に関連するテーマを設定し、追究、発表を行う。最後に各自がプレゼンテーションを行うか小論文を作成し、研究成果をまとめる。テーマ例として、国・地域をとりあげた国際理解教育の教材開発、開発問題や人権問題をとりあげた国際理解教育の教材開発、日本の多文化社会と学校教育に関する諸問題の追究、教科書と国際理解教育などがあげられる。

2. 授業の到達目標

各自もしくは小グループで国際理解教育に関連するテーマを設定し、追究、発表することができる。
各自の問題意識にそって小論文を作成し、思考を表現することができる。

3. 成績評価の方法および基準

平常点(授業中に書くコメントカード、参加態度)30%、発表35%、テスト35%

4. 教科書・参考文献

教科書

日本国際理解教育学会 『国際理解教育ハンドブックーグローバル・シティズンシップを育むー』 明石書店

参考文献

日本国際理解教育学会 『現代国際理解教育事典』 明石書店

5. 準備学修の内容

各自のテーマに沿った追究活動、発表準備について、授業時間外の学習が多く求められる。

6. その他履修上の注意事項

主体的に参加し、自分の意見を発信し、協同して学習を深める姿勢を強くもとめる。

7. 授業内容

- | | |
|--------|---|
| 【第1回】 | オリエンテーション
・本演習履修上の注意
・課題設定にむけての意見交換 |
| 【第2回】 | ・研究テーマの決定
・研究発表グループのメンバーを決める。 |
| 【第3回】 | 追究活動①
・個人またはグループでテーマについて研究を進める。授業時間外も含めて、文献の収集、フィールドワークに出て観察、インタビュー、調査等を行う。
*第2回～第6回では、学生が主体となる追究活動と平行して、毎回45分程度教員が学習を提供する。そこから国際理解教育の教材作りやプレゼンテーションの方法を学ぶ。 |
| 【第4回】 | 追究活動② |
| 【第5回】 | 追究活動③ |
| 【第6回】 | 4年生の卒業研究の中間報告から学ぶ |
| 【第7回】 | 追究活動の発表①
・各グループの研究発表をする。
・発表内容に関しての質疑応答、討論を行う。
・発表について各自コメントを記入する。 |
| 【第8回】 | 追究活動の発表② |
| 【第9回】 | 追究活動の発表③ |
| 【第10回】 | 追究活動の発表④ |
| 【第11回】 | ゲストティーチャーから学ぶ
グローバル社会と文化保持 |
| 【第12回】 | ゲストティーチャーからの学びを整理する |
| 【第13回】 | 国際理解教育のワークショップから学ぶ① |
| 【第14回】 | 国際理解教育のワークショップから学ぶ② |
| 【第15回】 | まとめ |